

協力伝道週間 祈りの暦 = 2015年1月25日(日)～2月1日(日) =

日ごとの祈りに合わせて「協力伝道」の働きを覚えて祈りましょう。

■1月25日(日) 被災地支援、国内伝道

①仮設住宅に住む被災者の健康と早期に展望が開かれるように。②被災地にある教会・伝道所の支援活動が守られ、キリストの愛が証しされるように。③東京電力福島第一原発事故による放射能汚染被害の収束。④全国支援・地域協働PJを覚えて(金沢・富山小泉町PJと4月からの北九州・山口・大分地区PJ)。⑤伝道プログラム支援ほか各種支援制度を通して、教会活動がより豊かに進められるように。

■1月26日(月) 国外伝道・国際協力

①野口日宇満、佳奈インドネシア派遣両宣教師の働きとご家族を覚えて。②嶋田和幸、薫カンボジア派遣両宣教師の働きとご家族を覚えて。③IMV佐々木和之氏の働きとご家族を覚えて。④AMC伊藤世里江氏の働きとIJC Sとの協働。⑤BWA、APBF、CBFとの協力。BWAid、APBAidを通じての支援。⑥日本バプテスト女性連合の働きと世界バプテスト祈禱週間献金(4900万円)を覚えて。

■1月27日(火) 青少年伝道、教会教育、教会音楽

①「少年少女・隣人に会おう旅」を実施し、青少年への「伴走性」を考える教会へと向かうように。②『聖書教育』を用いて聖書から神の物語を聴き、対話を培う教会学校がなされるように。③教会音楽が、諸教会の教会形成・信徒訓練の働きに資するように。『新生讃美歌』が礼拝で活用され、礼拝が豊かにされるように。奏楽奉仕者育成プログラム、礼拝研修、「賛美のことば」に関する働きのために。

■1月28日(水) 宣教研究所

①基礎研究や宣教論等の「研究」、さまざまな形の牧師「研修」、時代を的確に読み取るための「情報」等、バランスのとれた働きを通して諸教会に仕えるように。②運営委員をはじめ、所長、所員、スタッフの働き、中部地方連合牧師研修会、新任牧師・主事研修会等の研修会実施のために。

■1月29日(木) 伝道者養成・神学校

①献身者が多く起こされるように。②西南学院大学神学部・同大学院神学研究科、東京、九州両バプテスト神学校のために。③全国壮年会連合・奨学金委員会の働きと神学校献金(神学生奨学金献金)3000万円が満たされるように。

■1月30日(金) 理事会、監事、各委員会、事業体

①理事会、監事、特別委員会(靖国神社問題、公害問題、日韓・在日、部落問題、ホームレス支援、性差別問題、「障害」者、財務、回転資金、神学教育、資料保存、SH防止相談)、臨時委員会(平和宣言、憲法アクション、東日本大震災被災地支援、現地支援)②天城山荘の働きと経営を覚えて。

■1月31日(土) 協力伝道献金、教役者退職金

①「祈りと励ましの標準比率」に込められた「什一献金」の思いを基盤とする協働の喜びのために、協力伝道の働きに祈りを合わせることができるよう。諸教会のスチュワードシップが豊かにされるように。②教役者退職金制度の財政が満たされ、厚生年金移行が進められるように。

■2月1日(日) 諸教会・伝道所、連盟事務所

①諸教会・伝道所、関係団体など「祈り」で結ばれ、それぞれの働きがさらに豊かに祝されるように。②各教会の教役者の働きと健康と生活が守られますように。③無牧師の教会・伝道所を覚えて。④連盟事務所の働きを覚えて。

※略称【国外伝道・国際協力】IMV=国際ミッション・ボランティア、AMC=アジア・ミッションコーディネイター、IJCS=シンガポール国際日本語教会、BWA=世界バプテスト連盟、APBF=アジア太平洋バプテスト連合、CBF=Cooperative Baptist Fellowship 【各委員会】SH防止相談=セクシュアル・ハラスメント防止相談

各プログラム・行事の日程などの詳細な情報については、全国発送、ホームページなどをご覧くださいませようお願いします。